

Weekly report

MINKABU
THE INFONOID

株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド
東京都港区東新橋1-9-1

今週の注目材料 = 米・欧物価統計に注目

2023年6月26日

今月に入って豪、カナダ、英国が市場予想を超える大幅利上げを実施。米国とECBは市場予想通りの利上げ幅となりましたが、金利見通しや会見などで積極姿勢を示しました。また、パウエル議長は先週行われた議会証言において年内2回の利上げの必要性を示唆しています。

こうした世界的な金融引き締め強化の流れが、緩和継続を示す日本や、追加緩和に向かう中国売り、その他ほとんどの通貨買いという流れにつながっています。

ドル円は直近高値を超えて2022年11月以来の143円台まで上昇。先週0.5%の利上げを実施したボンドは対円で2015年12月以来の高値圏、ユーロ円は2008年9月以来の高値圏での推移となっています。

こうした流れがどこまで続くのか。各国の物価統計などに注目が集まります。そうした中、5月の米個人消費支出(PCE)デフレーター、6月のユーロ圏やドイツの消費者物価指数が発表されます。

まずは30日に発表される5月の米PCEデフレーターです。13日に発表された同系統の指標である5月の米消費者物価指数(CPI)は前年比+4.0%と、4月の同+4.9%から大きく鈍化しました。食品とエネルギーを除いたコア指数は前年比+5.3%と、4月の同+5.5%からこちらも鈍化しています。ともに市場予想とは一致しました。

ガソリン価格が前年比-19.7%と大きく下落。4か月連続で下落する中、下落率が最も大きくなりました。食料品は前年比+6.7%と、4月の同+7.7%から伸びが鈍化。伸びの鈍化は9か月連続となります。こうした動きが総合指数の大きな鈍化につながりました。

その他項目を見ると、住居費が前年比+8.0%と小幅ながら2か月連続で伸びが鈍化しました。また、確認できる限りこれまでマイナスが無かった医療サービスが4月の前年比+0.4%から同-0.1%と低下しています。

こうした状況を受けて今回の米PCEデフレーターは前年比+3.8%と4月の同+4.4%から大きく鈍化見込みです。ただ、コア指数に関しては前年比+4.7%と4月と同水準見込みとなっています。

ガソリンの低下や食品の伸び鈍化はPCEにも影響が強くなります。コア部分に関してはCPIよりも全体に占める割合(ウェイト)が大きい医療サービスのマイナスが響いてくる可能性があります。一方で伸びが鈍化した住宅部門のウェイトがCPIよりも小さい影響が出てくる可能性があります。

予想に反してコア部分の伸びが4月を超えてくると、年内複数回利上げの期待がもう一段強まりドル高となる可能性があります。

続いてユーロ圏及びドイツの6月の消費者物価指数です。

29日に発表される6月のドイツ消費者物価指数は、前年比+6.3%と5月の同+6.1%から伸びが強まる見込みとなっています。EU基準の調和消費者物価指数(HICP)も前年比+6.7%と5月の同+6.3%から伸びが強まる見込みとなっています。なお、ドイツ全体の発表があ

る21時に先駆けてドイツの各州のCPIが公表されます。なかでも欧州有数の経済圏であるルール経済地域を含むノルトライン・ヴェストファーレン州の結果が14時半に発表されますのでそちらも要注意です。

30日18時には6月のユーロ圏消費者物価指数(HICP)が発表されます。予想は前年比+5.6%と5月の+6.1%から鈍化見込みです。同コア前年比は+5.3%と前回並みの見込みとなっています。ドイツの物価上昇に支えられる形で、ユーロ圏全体も予想より強い伸びを示すようだと、年内複数回利上げへの期待が強まる形でユーロ高の動きが期待されます。28日18時発表のイタリア消費者物価指数、30日15時45分発表のフランス消費者物価指数も先行指標として確認しておきたいところです。

なお、ユーロ関係では26日から28日にかけてのECBフォーラムにも注目が集まります。基調講演や締めめの講演を行うラガルド総裁を始め、ECB要人や各国の中銀関係者の参加が予定されています。中でも28日に行われる金融政策がテーマのパネルディスカッションは、パネラーとしてラガルド総裁に加え、パウエルFRB議長、ベイリー英中銀総裁、植田日銀総裁と四大通貨の中銀トップがそろそろ豪華なものとなっています。金融引き締めに向けた動きが強まる中で、各中銀トップの発言に注目が集まります。

山岡和雅 | MINKABU PRESS編集部

1992年チェースマンハッタン銀行入行。1994年ロイヤルバンクオブスコットランド銀行（旧ナショナルウェストミンスター銀行）移籍。10年以上インターバンクディーラーとして活躍した後GCIグループに参画。2016年3月よりみんかぶ（現ミンカブ・ジ・インフォノイド）グループに入り、現在、minkabu PRESS編集部外国為替情報担当編集長。主な著書に「初めての人のFX 基礎知識&儲けのルール」すばる舎、「夜17分で、毎日1万円儲けるFX」明日香出版社など

<免責事項>

本レポートは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終判断はご自身の責任においておこなわれるようお願いいたします。また本レポートに掲載している情報の正確性については万全を期しておりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドは、利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドが提供するすべての情報について、許可なく転用・転載等することを固く禁じます。

<著作権について>

本レポートの著作権は、原則として当社(株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド)が保有しており、著作権法、その他の法律および条約により保護されています。本レポートご利用のお客様は、私的使用目的の複製、引用等著作権法上認められている範囲を除き、当社およびその他著作権者の許諾なく、これらの著作物を翻案、公衆送信、営利を目的とする使用等いかなる目的、態様においても利用することはできません。